

ちいきねこかつどう 地域猫活動



なぜするの？
だれのため？
どうやって？



なぜするの？

波岡東地区(波岡中学校区)において、「地域猫活動」への取り組みがあちらこちらで模索されています。

すでに活動を始めた地区もあります。

そもそも「地域猫活動」ってなに？
どうしてやったほうがいいの？
そんな疑問にお答えします！



だれのため？

犬は「狂犬病予防法」という法律により、飼い主のいない状態で外で生活することは違法です。これにより保健所が捕獲・収容しています。

一方猫は、根拠となる法律がありませんので、保健所による捕獲・収容は行われません。

待っていても誰も何も対処してくれない、対処できない、それが野良猫問題が長い間解決されずにきた大きな要因です。

「外にいる猫」に困っているすべての住民のための活動です！

でも、直接被害はないが、困っている住民がいるのなら改善したほうがいい、可哀想な猫がいるならなんとかならないものか、と思っている方もいます。

またごはんをあげていても、必ずしも現状で良いとは思っていない方もいます。

迷惑な猫を減らす、可哀想な猫を減らす。気持ちは違えど、目指すゴールは実は同じなのです。



どうやって？

地域住民ボランティアによる活動グループを立ち上げ、自治会や行政、保護団体等と連携しながら、

- ① 猫の調査(飼い猫特定含む) ② アンケート/説明会/広報活動 ③ TNR※
- ④ エサやりルール作りやトイレの管理 ⑤ 住民間の猫トラブルへの対応 などを行います。

※TNRとは
トラップ
Trap
捕まえて

ニュート
Neuter
避妊去勢手術を施し

リターン
Return
元の場所に戻す

耳のVカットは「サクラ耳」とも呼ばれ、手術済みの印です。



 誤解しないでくださいね。以下の行為は「地域猫活動」とは呼びません！



ただ野良猫にごはんをあげる



不妊去勢・トイレの管理・ルールを守ったエサやりは地域猫活動の一番の基本です。



不妊・去勢をして終わり



糞尿被害の軽減・苦情の対応・新たな猫の流入/捨て猫の阻止など、猫を取り巻く様々な問題に継続的に向き合う活動です。



地域住民の理解や納得を得ていない



自治会などの住民組織の協力と理解のもと、住民の合意の上で進め、みんなで考え取り組んでいく活動です。